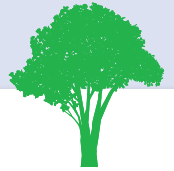




公立鳥取環境大学大学院

環境経営研究科 — [環境学専攻 | 経営学専攻]



2016年4月、大学院 環境経営研究科を新設

設置届出書類提出中

公立鳥取環境大学では、環境学および経営学の両面から環境問題にアプローチする高度な教育によって、基本理念「人と社会と自然との共生」に基づく持続的社会的構築を追求し実現できる高度専門職業人を養成するため、2016年4月に「公立鳥取環境大学大学院 環境経営研究科」(入学定員15名)を新設します。

環境経営研究科の概要

自然科学と社会科学の両面から「環境」が理解できる高度専門職業人の養成

過去数十年の間に、環境問題が人類の前途に立ちほだかる脅威として認識されるようになり、時間の経過とともに、問題の進行を物語る現象が日常生活や地球レベルで見られるようになってきています。それに対して、様々な研究や実践的な取り組みが進められ、一定の成果をあげているものの、解決の方向さえ定まらないような困難な問題が増えてきている現実もあります。このような背景のなか、環境問題の改善には人間が営む地域生活や経済活動の実際に合致した環境保全の対策が必要です。

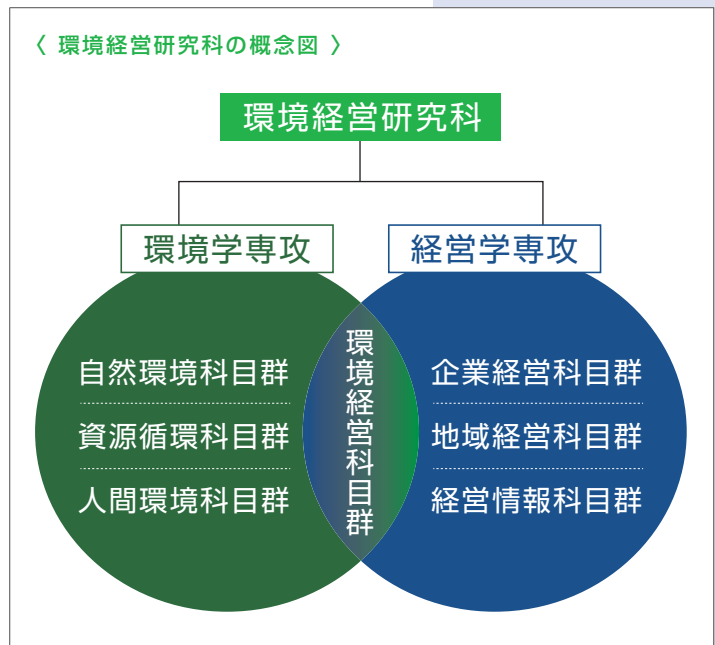
公立鳥取環境大学大学院(環境経営研究科)では、環境学および経営学の両面から環境問題にアプローチする高度な教育によって、「人と社会と自然との共生」に基づく持続的社会的構築を追求し実現できる高度専門職業人を養成します。

環境を切り口に自然科学と社会科学が融合した基礎学を修得するために共通科目である「環境経営科目群」を設置するとともに、より専門性を高めるために、主として自然科学を軸とする「環境学専攻」と、社会科学を軸におく「経営学専攻」の2専攻を設置します。

環境学専攻(入学定員10名)では、「環境経営科目群」に加えて「自然環境科目群」「資源循環科目群」「人間環境科目群」の3つの科目群を置き、個別領域の知識に長けた高度専門職業人を育成しながら、視野の広い専門人を養成します。

経営学専攻(入学定員5名)では、「企業経営科目群」「地域経営科目群」「経営情報科目群」の3つの科目群、及び「環境経営科目群」を置き、科目間の連携もはかりつつ、個別領域の高度専門職業人を養成します。

〈 環境経営研究科の概念図 〉



〈 アドミッションポリシー 〉

● 教育目標

持続可能な社会の構築に向け、環境学や経営学の知見を踏まえて、地域問題や環境問題等々、社会が抱える諸課題を考察し、諸課題の解決に積極的・中心的に寄与できる人材の育成を目指します。

● 入学試験で期待する人物像

地域問題や環境問題等々に強い関心を有している者で、持続可能な社会の実現に向けて提案・行動する意欲のある人材を求めます。

入試概要

入試区分	募集人員	試験日	選抜方法
一般入試	1期	15名	筆記試験(専門科目、外国語-英語)、 面接(口頭試問)
	2期	若干名	
外国人留学生入試	1期	若干名	小論文、面接(口頭試問)
	2期	若干名	
社会人入試	1期	若干名	
	2期	若干名	